

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス すてーじ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月19日		令和7年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年12月19日		令和7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症心身障がい児や医療的ケア児の受け入れができる。	営業時間内に2名以上の看護師を配置している。 車椅子やバギーのままでも乗車できるように、リフト付き車両で送迎を行っている。	指導看護師の指導の下、喀痰吸引等研修(3号研修)の実地研修を実施し、職員が適切な医療的ケアができるようになる。
2	支援開始前、支援終了後の打ち合わせを当日出勤の全職員で行っており、支援内容の確認や情報の共有ができています。	支援開始前の打ち合わせでは、当日利用する児童の個別支援計画書を確認しながら、前回利用時の記録も確認し、その日の支援において気を付けること(体調の変化、取り組んでいることに対する確認等)について共有している。	支援終了後の振り返りの開始時間を早め、振り返りの中で出てきた取り組みや、変化の兆しなど、より多くの記録を残すようにする。小さな変化や傾向から支援に繋げていく。
3	固定化されないよう色々なプログラムを提供している。	月に一度プログラム会議を行い、スタッフ全員でプログラムを立案している。 季節を感じられるような創作活動や全体制作を行っている。 土曜日や長期休暇時は外出プログラムも積極的に取り入れている。	今までやったことのないプログラムを立案していく。 プログラムの開始と終了等、区切りが分かりやすくなるように音楽を流し、プログラム参加を促す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流、きょうだい同士の交流の機会	保護者同士の交流、きょうだい同士が交流する機会が設けられていない。	保護者会以外の保護者同士が交流できる機会を提供できるように検討する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	土曜日や長期休暇中は地域のイベントに参加したり、公園や図書館など公共の施設に出かけている。事前にアポイントメントを取り、日程や人数、交流場所等の調整が必要な児童館等との交流はできていない。	地域でのイベントに参加する。 児童館まつりなどのイベントに参加する。 他の放課後等デイサービスと交流する機会を設定する。
3			